

InfoWorks WS Pro v5.0 の新機能リスト

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoWorks WS Pro v5.0 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

このバージョンでは、下記では詳細に説明されていない様々な機能拡張やバグの修正も行われています。ご注意ください。

MapXtreme 9.2.0 がサポートされるように

MapXtreme マップコントロールが v8.1.0 から v9.2.0 へと更新されました。主にオーストラリアを対象とした座標系が新しく追加になり、またバグの修正も行われています。詳細については、pitneybowes.com をご覧ください。

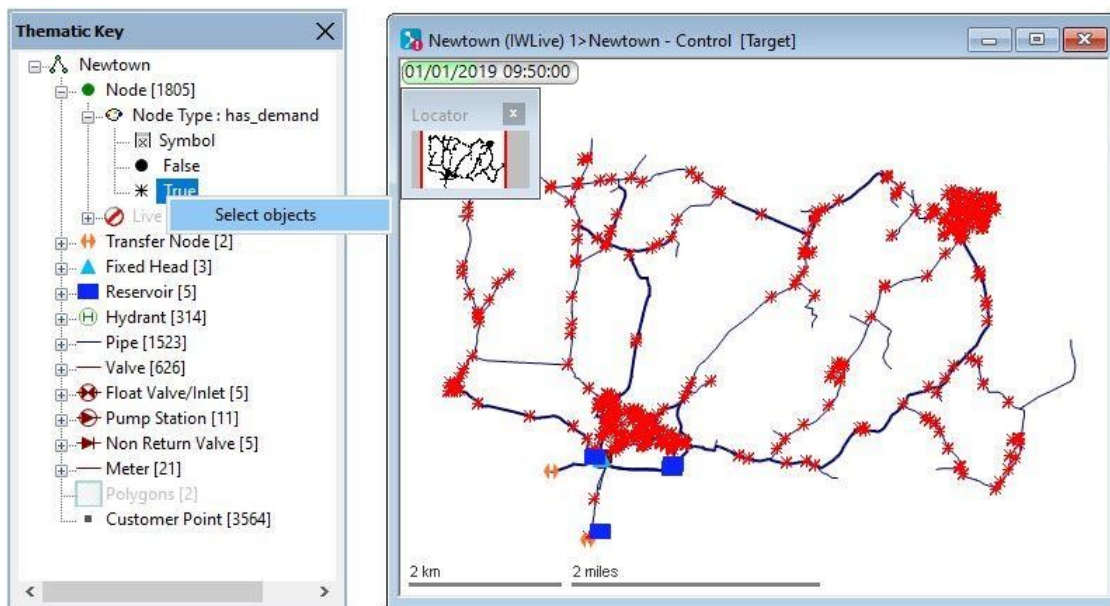


警告:

InfoWorks WS Pro では、多くの利点がある MapXtreme 9.2.0 を利用できるよう更新を行いました。しかしながら、MapXtreme 9.2.0 と以前のバージョンで用いられていた MapXtreme 8.1.0 では互換性がないため、InfoWorks WS Pro v5.0 よりも古いバージョンでは、InfoWorks WS Pro v5.0 のインストール後、WMS レイヤーソースがお使いいただけなくなります。ご注意ください。

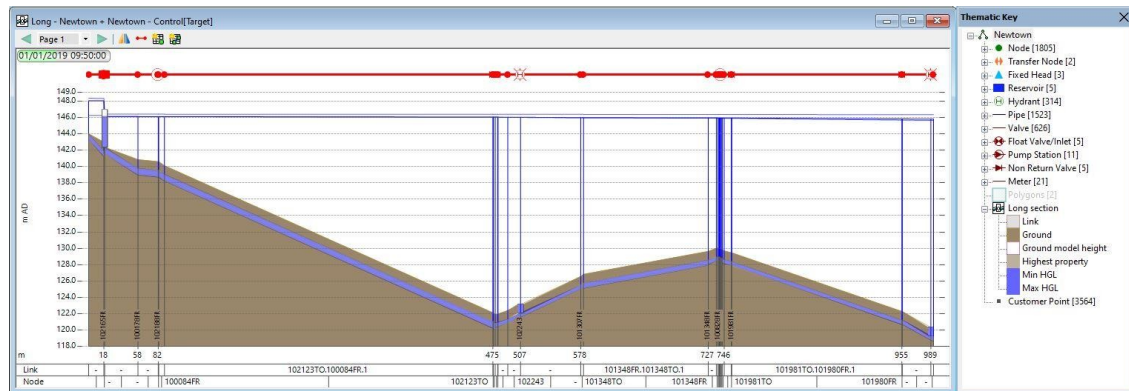
テーマキーウィンドウの選択が可能に

テーマキーウィンドウにてポップアップメニューを使用し、オブジェクトを選択することが可能となりました。特定のタイプやサブカテゴリーの全オブジェクトをジオプラン上にて選択できるようになりました。



ロングセクションが改善

ロングセクションビューに表示できる情報が追加されました。新しいツールバーを使用して、ロングセクションウィンドウで様々なタスクを実行することが可能となっています。ロングセクションプロパティウィンドウが拡張され、縦断面図の表示方法や、色やフォントといった属性の編集が可能となりました。



アドオンを使用したルビースクリプトがサポートされるように

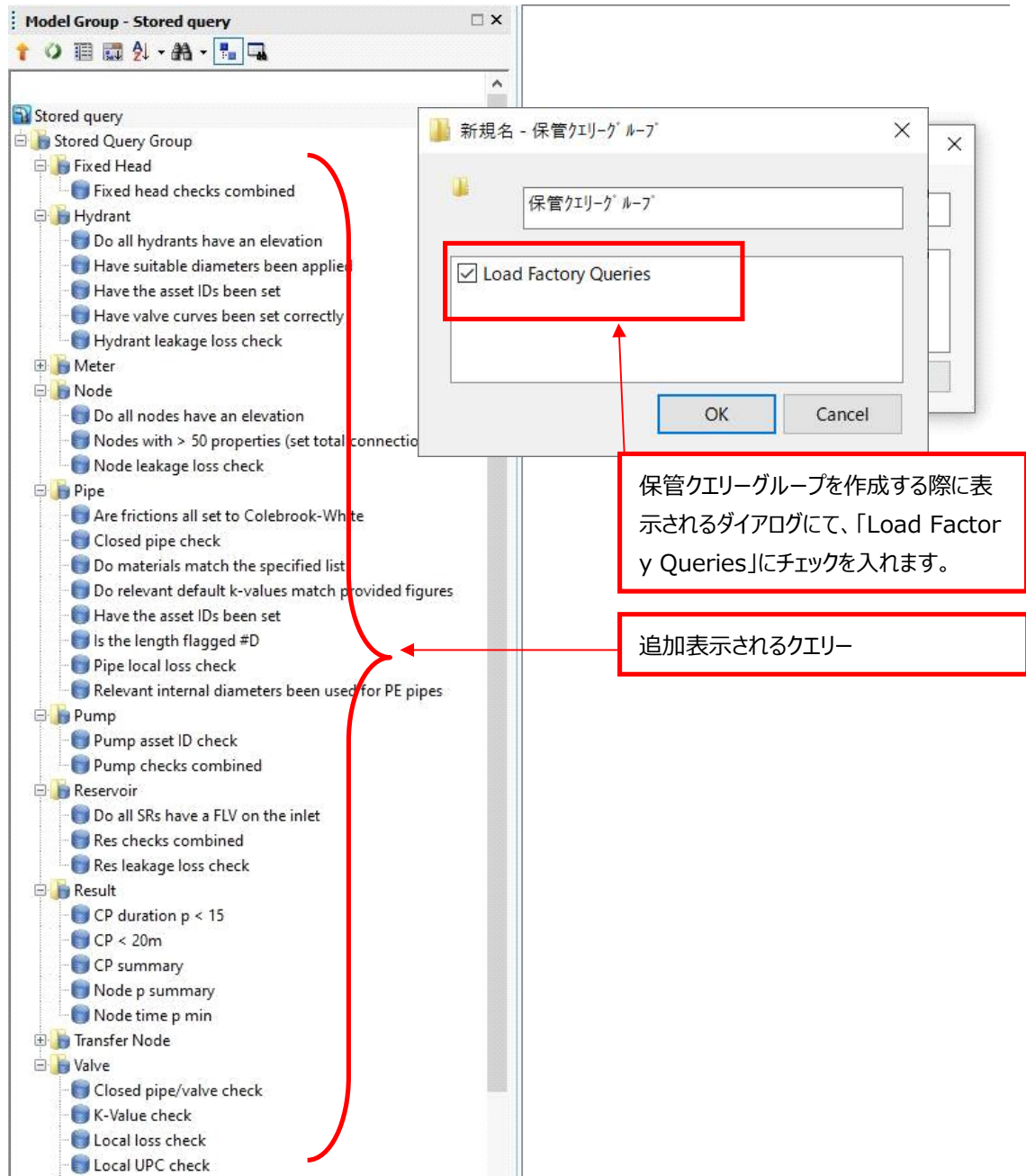
ネットワークメニューのオプションからアドオンを使用し、ルビースクリプトを実行できるようになりました。

InfoWater ユーザーデータフィールドがサポートされるように

ユーザーフィールドデータを InfoWorks WS Pro ユーザーテキストフィールドやユーザーナンバーフィールドヘインポートできるようになりました。各フィールドタイプには、最大 15 個まで入力することが可能です。InfoWater からデータをエクスポートする際には、選択やマッピングを行うことが可能です。ブーリアンデータについては、ユーザーナンバーフィールドにインポートする必要があります。True 値は 1 として False 値は 0 としてインポートされます。

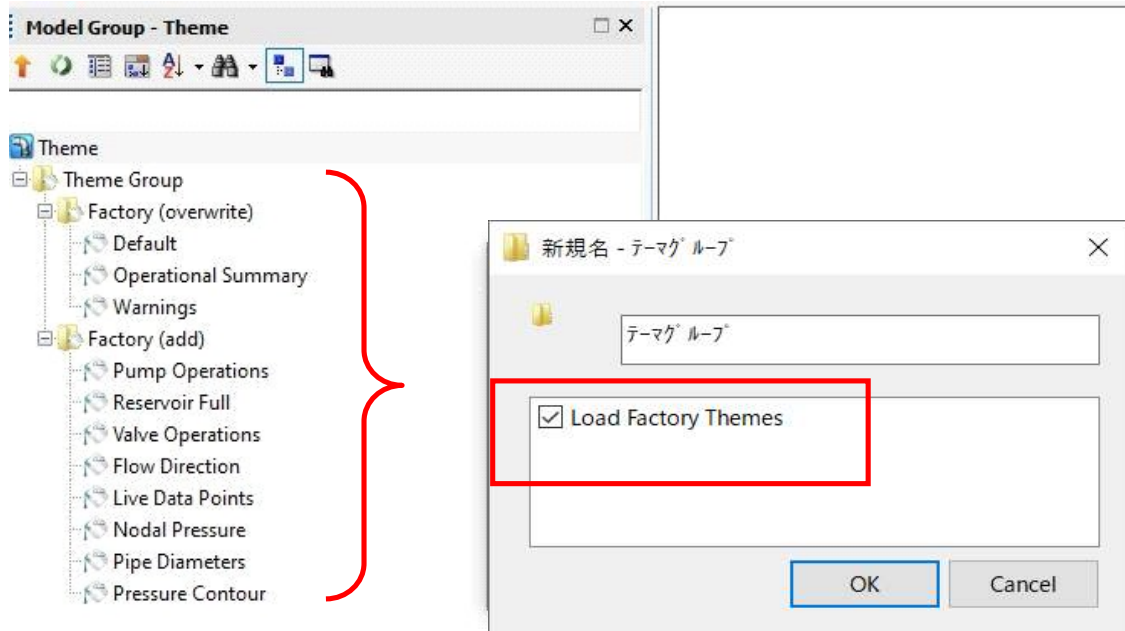
事前定義された SQL クエリーの読み込みが可能に

保管クエリーグループを作成する際に、事前定義された SQL クエリーを 10 個読み込めるようになりました。



事前定義されたテーマの読み込みが可能に

テーマグループを作成する際に、事前定義されたテーマ（上書きテーマと追加テーマ）を 10 個読み込めるようになりました。



コントロール時間間隔が変更

これまで、コントロール時間間隔を超えるシミュレーションを実行しようとする、コントロール時間間隔の開始がシミュレーションの開始と同じになるよう、全てのコントロールがシフトしていました。これにより、想定と異なる結果となることがありました。この点が改良され、コントロール時間間隔ウィンドウ内のコントロールのみがシフトするようになりました。